

コロナ禍における女性支援についての広報・周知業務 参考資料

「女性のためのコミュニティスペース」について

1. 事業目的

コロナ禍において、特に女性に対して、雇用・収入の減少や、社会とのつながりの希薄化など、様々な面で深刻な影響を及ぼしていることが顕在化したことを受け、令和3年7月に、ドーンセンター2階に「女性のためのコミュニティスペース」を開設しました。本スペースを通じて、新型コロナウイルス感染症の影響により不安や悩みを抱える女性に対する支援の強化を図ります。

(参考)「女性のためのコミュニティスペース」ホームページ

<https://www.pref.osaka.lg.jp/danjo/community-space/index.html>

2. 事業概要

○事業期間

令和4年4月1日(金曜日)から令和5年3月31日(金曜日)まで(平日の月曜日・年末年始を除く)

○開設時間

火曜日から金曜日:午後1時から午後6時

土曜日:午前10時から午後6時

日曜日、祝日:午前10時から午後5時

○実施場所

府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)2階

スペース内部のイメージ⇒



○支援内容

コロナ禍において、困難や不安を抱える女性の孤独・孤立を防ぎ、社会との絆・つながりを回復することができるよう、きめ細かい支援を実施しています。予約不要の窓口の設置や交流会を実施するとともに、生活用品等の提供を通して、利用のきっかけづくりを行っています。

(1) 情報・相談室の設置(事前予約不要・利用料無料)

(2) 交流の場づくり(事前予約不要・参加費無料):月4回程度

(3) 生活用品等の提供

主な提供品:就活用スーツ・シャツ、靴、鞆、化粧品、生理用品 等

※支援内容の詳細は上記ホームページをご覧ください。

○事業実施

主催:大阪府

事業受託者:ドーン事業共同体

3. 事業実績(令和4年度実績(10月末時点))

(1)利用者について

○利用者数:のべ623名 ※参考:令和3年度開設時の7月から3月の利用者数 のべ650名

○利用者満足度:80%以上

上記ホームページ内に掲載している事業チラシ裏面に、利用いただいた方からの声を一部記載していま

すのでご覧ください。

○主な利用目的

① 話がしたい

「コロナ禍で家にこもりがちになった」「外出がなくなり話し相手が欲しかった」等
⇒スタッフがお話を聞いた上で、その方が抱える悩みへのアドバイスをし、毎月開催している交流会「ほっこりゆったり会」のご案内などを行っています。

② 情報がほしい

「再就職先を探したいがどこに相談したらよいか」「〇〇なケースはどうしたらよいか」等
⇒悩みの内容によっては、直接行政窓口への相談をためらうケースがあり、どこが適切な相談窓口なのかわからなかったり、またそもそも相談窓口の情報をご自身で見つけるが困難というケースもあります。その場合に、このスペースでスタッフが丁寧に話を聞いて、適切な相談窓口をご案内しています。

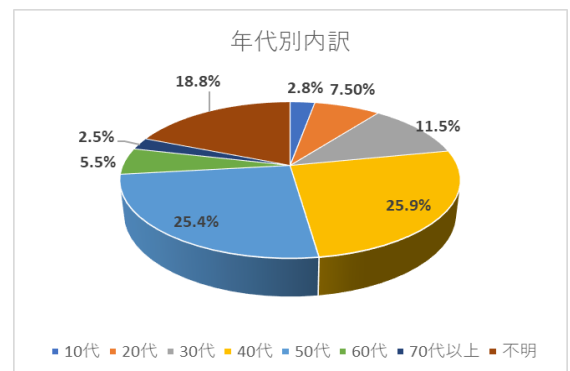
③ 経済的困窮で生活用品等が購入できない

⇒スタッフがお話を伺った上で、必要に応じて生活用品等を提供いたします。なお、お渡しする生活用品等は協賛企業からご提供いただいたものです。

○利用者年代別内訳

年代別内訳は 25.9%と 40 代が最も多く、次いで 50 代が 25.4%、30 代が 11.5%、20 代が 7.5%、60 代が 5.5%と続いています。

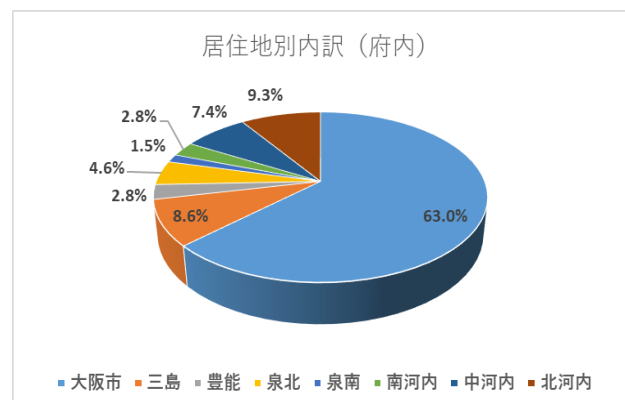
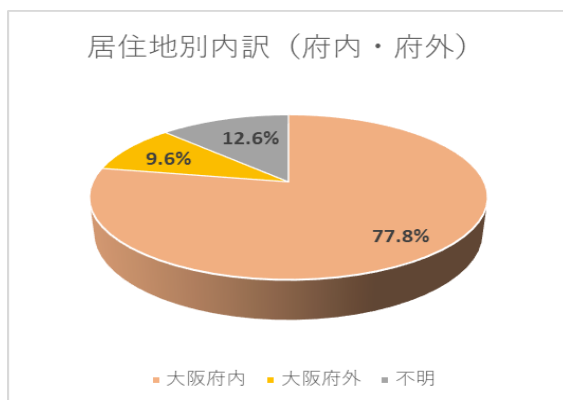
昨今、とりわけ若年女性の自殺増加が問題となる中、不安や悩みを抱える 10 代、20 代の利用は少ない状況にあります。



○利用者居住地別内訳

大阪府内からの利用が 8 割近くを占め、一部府外からの利用もあります。府外からの利用については、勤務地が大阪府内であること等が回答となっています。

また、居住地別内訳（府内）においては、大阪市内からの来所が 6 割以上を占めています。



○知ったきっかけ

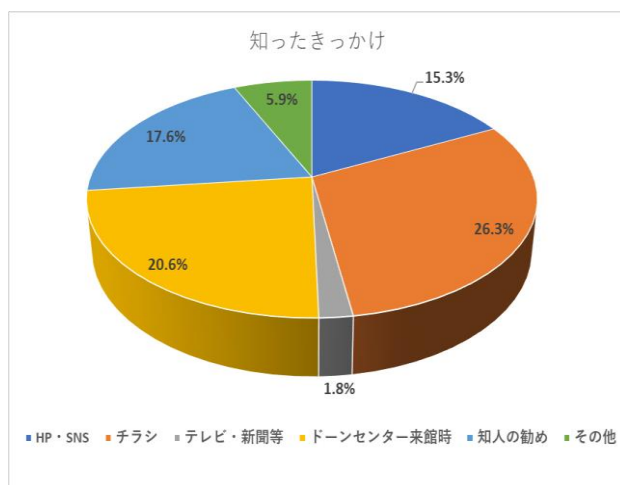
これまで実施した主な広報は、①チラシ配布（市役所、就労支援機関、社会福祉協議会等の生活支援窓口、その他相談窓口等）、②府公式広報ツール（ホームページ、府政だより、Facebook、Twitter）での発信、③ドーンセンターメールマガジンでの発信がメインとなっています。また、令和3年度においては、新聞やテレビなどでも取り上げられ、それらを見た人による来所も多くなりました。

<令和3年度 主な広報実績> ※7月に事業開始

- ・チラシ配布(市役所、府内男女センター、図書館、ハローワーク等の就職支援窓口、社会福祉協議会等)
- ・大阪府メールマガジン配信:8月
- ・大阪府公式 Twitter 配信(2回):8月、令和4年2月
- ・大阪府 Facebook 配信(1回):9月
- ・府政だより10月号掲載
- ・FM大阪 WELFARE group presents それ U.K.!! ミライ bridge 出演:9月
- ・大阪府チャンネル出演:10月
- ・ドーンセンターメールマガジン配信:事業開始後毎月
- ・テレビ放送(2回):朝日放送(7月14日)、関西テレビ(7月21日)
- ・新聞掲載(2回):毎日新聞(8月12日)、読売新聞(12月14日)

<令和4年度 主な広報実績>

- ・チラシ配布(市役所、府内男女センター、図書館、ハローワーク等の就職支援窓口、社会福祉協議会等)
- ・大阪府公式 Twitter 配信(2回):4月、9月
- ・大阪府 Facebook 配信(1回):6月15日
- ・府政だより6月号掲載
- ・FM大阪 WELFARE group presents それ U.K.!! ミライ bridge 出演:9月
- ・ドーンセンターメールマガジン配信:事業開始後毎月
- ・新聞掲載(1回):毎日新聞(9月)



(令和4年度アンケート結果)

知ったきっかけとして最も多いのはチラシ(26.3%)となっており、チラシ入手場所としては、近隣の市役所窓口や男女共同参画センター、ハローワーク等が多くなっています。

次いで、ドーンセンター来館時(20.6%)であり、ドーンセンター2階の情報ライブラリー利用時に、「女性のためのコミュニティスペース」に立ち寄ったという回答が多いです。

3番目に多い「知人の勧め」(17.6%)については、福祉部署の相談員や利用している支援団体のスタッフ、弁護士等からの紹介という回答や、友人から勧められたという回答があります。

HP・SNS(15.3%)については、府ホームページやTwitter等のSNSが主な回答で、その他の回答として、府政だより等があります。

最後に、テレビ・新聞等について、全体の1.8%であり、令和4年度は1度、毎日新聞(7月4日朝刊)への記事掲載をしていただきました。一方で、令和3年度の事業開始時には、テレビ報道2局(1局1回)での放映、新聞社2社(1紙1回)の掲載があり、放映・掲載後の2か月程度は継続して、知ったきっかけの10%を本項目が占めていたという結果があります。

(2) 交流会について

「女性のためのコミュニティスペース」では、月4回程度、交流会「ほっこり、ゆったり会」を実施しています。テ

ーマを設定し、支援スタッフの進行のもとで、同じように不安や悩みを抱える方同士が集い、交流する場となっています。

(令和4年度実績(10月末時点))

○実施回数:28回

○参加者:のべ161名(1回の参加者数平均5名程度)

○主なテーマ

「ゆったりとした時間を共有しましょう」「ストレスとの付き合い方」「自己肯定感を高めよう」等

(3) 協賛企業・団体実績

令和4年10月末時点で、27団体からの協賛をいただいています。(詳細はホームページ掲載の事業チラシをご覧ください。)

○主な協賛内容:来所者に提供する就活用スーツや生活用品等の提供、セミナー開催 等